多治見市消防へホース8本贈る

小境電気工事と東濃信金が私募債を活用

小境電気工事（多治見市錦町）と東濃信用金庫（同市本町）は、同社が発行したCSR型地域エール私募債「感謝債」を活用し、市消防本部に消防用ホース8本を寄贈した。

感謝債は同金庫が受け取る手数料の一部を使い、発行企業が指定する学校や団体に物品を寄贈するサービスの付く私募債。今回寄贈したホースは、地域住民で組織する自主防災隊が初期消火をする際に使われる。

同市三笠町の市消防本部で贈呈式があり、同社の小境邦裕専務が「会社が本年度で創業70周年を迎え、地域に貢献できることを考えた。防災のために活用してもらえるとありがたい」と述べた。加地哲消防長は「市民の安心安全の一助となるよう大切に使いたい」と感謝した。（山本貴史）

贈呈式で消防用ホースを贈った小境邦裕専務（左から2人目）ら＝多治見市三笠町、市消防本部

無断複製・転載を禁じます